

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ヒュッテキンダー		令和 7年 6月 29日			
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全確保のためのスペース及び環境設定の確保をしています。	医療機器の利便性を考慮したスペース、レイアウトの工夫も行っています。安全に配慮した効率的な活動ができるよう支援の充実化を図っていきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			人員配置を満たしている状況です。シフトを決める際には、配置数を複数人で確認しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			建物全体に大きな課題はありませんが、引き続き安全にご利用できるように努めていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		支援計画、アセスメントにおける会議、ケース会議を行っています。	ケース会議以外にも朝礼時に子どもの様子等を共有し、振り返りもしています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の連絡、面談等でも意見を伺っています。	評価表以外でもご意見を頂きやすい環境を作っていけるよう工夫していきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、当事業所では実施しておりません。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		虐待防止等の社内研修も定期的を実施しています。	社内研修の充実化を図り、教える側のスタッフも学べる機会を増やせるよう工夫しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		年に一回以上、障がいの度合いに応じて二回以上の更新をしています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に作成していますが、関わる職員すべてに聞き取りを行い反映しています。	アセスメントツールを使用できるスタッフを増やしていけるよう研修など実施していきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画書に沿った支援を意識しながら、子どもが飽きないよう工夫しています。スタッフのグルーptークを用い、全員に共有するようにしています。	支援計画の内容によっては固定した支援を行うこともあります。その中で季節ごとの行事、個別のニーズ、スケジュールに沿ってプログラムを立て、前回の活動などと重ならないように努めています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		支援計画の内容によっては固定した支援を行うこともあります。その中で季節ごとの行事、個別のニーズ、スケジュールに沿ってプログラムを立て、前回の活動などと重ならないように努めています。	長期休暇時等はイベントを多く設け、様々なことを経験できるよう工夫しています。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			スタッフ、保護者間の連絡を記録し、連携、共有しています。記録の書き方について必要に応じて指導しています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			ニーズや必要性を考慮しながら活動内容を検討しています。

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	スタッフのグループトークを用い、全員に共有するようにしています。	全員が発言できるよう工夫しています。残っているスタッフ間で打合せ、振り返りをしています。それ以外は、翌日に業務記録を確認しながら行っています。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		スタッフ、保護者間の連絡を記録し、連携、共有しています。記録の書き方について必要に応じて指導しています。		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一度モニタリングの実施と相談支援、他事業所からのモニタリング時に情報の共有をしています。		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	○		ニーズや必要性を考慮しながら活動内容を検討し、支援を行っています。		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	季節ごとに様々な課題に取り組むようにしています。しかし、利用児だけでは中々進まない場合が多々あり、職員が作成するところを見せ課題に参加してもらっています。			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	必要に応じて児発管が参加しています。	重症児デイにより、医療的ケアを要する利用児に関わっている看護師が参加しています。		
	27	地域の保健、医療（主治医や強力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所を介して各関係機関との連携を図り支援体制を整えています。		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者の方に了解をいただき、学校との連絡帳を確認させてもらい対応しています。	年間の予定等は保護者の方、学校よりいただいています。学校の見学や担当者会議などは、保護者の要望に応じて対応をしています。今後も必要に応じて連携を取っていきます。		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	担当者会議に参加をし情報共有しています。	保護者からのご要望があるときに実施しています。		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		障害福祉サービスへ移行のための医療ケア、支援内容の情報提供をし共有しています。問合せ、意見等があれば新たな課題等検討することも行っています。		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		瑞穂児童発達支援センターを介して研修等を受講する機会をいただいています。		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		実施しておりません。今後もニーズを把握し、必要に応じて検討してきます。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			瑞穂区通所事業所部会を介して他事業所との連携を図り活動しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			保護者様と密に連絡を取っており、スタッフ間で内容を共有、対策の検討を行っています。気軽にお声がけいただける雰囲気を作れるよう意識していきます。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修を行ってスキルの向上を図り、実施していきように努めていきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			児発管、管理者より契約時にお話しています。また、変更があった場合はメールで連絡をし、別途説明をする時間をいただいています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の医師の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		相談支援員さんとの連携を強化、実施しており、個別支援計画書の内容に反映し、説明させてもらっています。		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて、電話連絡や面談を行い、子供の状況等共有しています。	保護者様とメール、電話、送迎時等でお話をさせていただいています。	
	保護者への説明	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討してきます。保護者同士の連携を望んでいない方もいるため積極的には行っていません。
		41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者からの相談については、随時受け付けていることを周知しており、適切に対応しています。	苦情はありませんでしたが、苦情対応の体制を整えています。ご意見、ご相談については迅速に対応してまいります。

責任等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		日々、連絡帳にて活動内容を。「Hütteだより」にて行事等の内容をお伝えしています。今後HP上でも定期的に情報発信することを検討していきます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		契約時に細かく確認させていただき、取り扱いには十二分に注意しています。面談室を使用するなど場所の配慮を意識しています。	
	44	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	個々に分かる伝達方法を使用しています。(タブレット、イラスト、写真、絵カード等)	今後も子どもの理解度に合わせた指示の仕方など配慮していきます。保護者の方には気軽に声をかけていただけるよう、普段からコミュニケーションをとることを意識していきます。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域の方をお呼びして行事等は行っておりません。今後検討します。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは作成していますが、保護者へは周知されていません。スタッフに対しては、定期的に研修を行っています。	事業所内での共有には努めていますが、保護者の方には閲覧用マニュアルの設置を検討していきます。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		事業所内でAEDの研修やスタッフが救命講習に参加し、緊急時に備えた対応を身につけています。	火災、消火、地震、救急処置等の訓練を定期的に行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		母子手帳の確認や発作等の聞き取りをしています。知識をつけるための研修を実施しています。	対象児童についての情報共有だけでなく、基礎知識をつけるための研修など今後も継続的に実施していきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある子は食介プレートを大きくし、スタッフ全員が把握できるように細かく記入しています。	保護者様を通じて、必要に応じて主治医より指示書をいただき、食物アレルギーに関しそれに基づく対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		職員研修を行いつつ、また、近隣の危険な個所の確認を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			安全改革を策定しているが、保護者には周知できていないのが現状です。周知を徹底していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。	今後も研修などで理解を深めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修を行っています。	虐待防止委員会を設置し、研修やケース会議を行ない、理解を深めるとともに注意喚起を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に詳しく説明をし、承諾書にサインをしていただき、保護者の了承を得ています。マニュアルの内容を共有しています。	スタッフ一人ひとりが、拘束を安易に正当化することなく、身体拘束をしないケアの実施に努めていきます。また、研修などで理解を深めていきます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ヒュッテキンダー

公表日

令和7年 6月 29日

利用児童数 13名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			3	中学、高校生には少し狭いかなと感じます。	利用児に対してより安心、安全にケアができるよう、医療機器、備品等の配置を工夫しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6			2		会報にて、当事業所の職員に関する情報を発信し、当日利用児に合わせた人員配置をしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすい構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			2		事業所内全面バリアフリー化になっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6			2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					保護者から子どものご家庭での様子やご希望を聞き、ビジョンを共有し提案、作成しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7				1	相談支援事業所で作成された計画を基本に、保護者面談の結果を踏まえて計画を作成しています。今後は国が示した5領域を踏まえた計画作成に配慮します。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7				1	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				3	
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1		1		6		事業所内での交流の場は設けておりません。
保護者への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1				来所の際にお話しさせていただき、お話しきれない場合は、電話、SNS、及び改めてのお話の時間を設けております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6		1	1		
	14 事業所では家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加で来る研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1	2	面談、担当者会議等の機会を増やし、細かな支援や助言ができるよう努めています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7				1	
	16 定期的に、面談や、子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					個別支援計画作成時やモニタリング時に家庭での様子も取り取りして、支援に反映するように心がけています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	3	4	父母の会等は、現在実施しておりません。開催できるよう努めます。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7		1			苦情受付窓口を設けておりますので、お気軽にご相談ください。
	20 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				1	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5		1		2	今後、日頃の様子や行事予定等を会報だけでなく、ホームページにも掲載していきます。
22 個人情報の取扱いに十分注意されていると思いますか。	6				2	個人情報がかかれた書類等は、鍵付きの倉庫にて事務所内に保管しており、十分注意を払い保管しております。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			5		事業所内にマニュアルを常設しております。保護者の方への周知に努めています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。				8		災害に備えた訓練を定期的に行っています。情報の発信に努めています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5			3		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			3		非常時の対応について、事業所と保護者が共有できるように情報発信と丁寧な説明をしていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7			1		子どもひとりひとりに合ったサービス、ケアを提供し、通所を楽しんでくれるよう工夫していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6			2	ニコニコで帰ってきます。	お子様の笑顔が見られることがスタッフの幸せの瞬間です。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				いつもありがとうございます。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Hutte Kinder (ヒュッテ キンダー)		
○保護者評価実施期間	令和7年 5月 1日		令和7年 5月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 1日		令和7年 5月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 6月 29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境整備や人員配置が整っていること	当日の利用児のケア内容、状態によって個々の利用児の特性に応じた環境整備を行っています。最低人員に加えて加配を付け、他施設とも連携を取り柔軟な応援体制を組んで、利用児に合わせ適切な人員配置を行っています。複数人で配置の確認を行っています。	環境については動線の見直しを行ったり、職員間で意見交換をし、さらなる向上を図っていきます。職員のスキルアップのため、研修制度やOJTの充実を図っていきます。
2	一人一人に応じた支援の提供	連絡帳や、保護者とのメールのやりとりを通じて、利用児の状況を把握し、スタッフ間で共有しています。活動プログラムが固定化しないよう季節ごとの行事を盛り込み充実を図っています。関係機関との連携を取り、一人一人の状態の把握に努めています。	一人一人の現状に合った活動プログラムが提供できるよう、保護者との連絡を密にとり、スタッフ間での情報共有に努めていきます。活動プログラムのさらなる充実を図るため職員同士でアイデアを出し合ったり、共通理解を深めることで、一人一人にあった支援を提供していきます。
3	(子ども及び保護者の)満足度	日々の記録を丁寧に書くことや送迎時に職員から保護者への丁寧な説明を心がけ、施設内での利用児の様子について、保護者に伝えることができるようつよめています。	今後も職員一人一人が保護者説明を丁寧に行えるよう心がけ、子ども及び保護者のニーズの把握に努めていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流	体調が安定しない利用児もいるため出かけるなどの機会が難しい場合があります。	外部や関係機関との連携を通して関係性を構築し、今後は交流する機会を設けていきます。
2	家族支援	保護者同士の交流の機会が少ないです。	保護者や利用児のニーズを把握したうえで、必要な家族支援を企画、運営していくよう努めます。
3	非常時対応についての保護者への周知	施設内で避難訓練などを行っていますが説明不足でした。	今後、ホームページやおたより、連絡帳に記載するなどして保護者への情報の発信を検討していきます。